【総括表】

用途	こども園

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	朝日こども園	日南町	現状維持	
2	上郷こども園	上郷町	現状維持	
3	挙母こども園	挙母町	現状維持	
4	住吉こども園	住吉町	現状維持	
5	トヨタこども園	水源町	大規模改修	
6	童子山こども園	小坂町	現状維持	
7	野見こども園	美里	大規模改修	
8	平山こども園	平山町	大規模改修	
9	藤薮こども園	豊栄町	現状維持	
10	宮口こども園	宮口町	現状維持	
11	美和こども園	百々町	現状維持	
12	山之手こども園	山之手	大規模改修	
13	若林こども園	若林東町	現状維持	
14	伊保こども園	保見町	大規模改修	
15	今こども園	今町	大規模修繕	
16	畝部こども園	畝部西町	現状維持	民間移管済
17	梅坪こども園	梅坪町	大規模修繕・大規模改修	
18	永新こども園	永覚新町	現状維持	
19	大畑こども園	篠原町	現状維持	
20	大林こども園	大林町	現状維持	
21	上鷹見こども園	上高町	大規模修繕	
22	越戸こども園	越戸町	大規模修繕・大規模改修	
23	駒場こども園	駒場町	大規模改修	
24	寿恵野こども園	鴛鴨町	現状維持	民間移管済
25	高嶺こども園	和会町	民間活力の導入	民間移管予定
26	高美こども園	若林西町	大規模改修	
27	竹村こども園	中町	現状維持	民間移管済

28	堤こども園	本田町	現状維持	民間移管済
29	堤ケ丘こども園	堤町	大規模修繕・大規模改修	
30	透成こども園	西広瀬町	大規模修繕	
31	渡刈こども園	渡刈町	大規模改修	
32	豊松こども園	豊松町	大規模修繕・大規模改修	
33	中金こども園	城見町	大規模修繕・大規模改修	
34	中根山こども園	高岡本町	現状維持	
35	根川こども園	下林町	大規模改修	
36	ひかりこども園	矢並町	大規模修繕・大規模改修	
37	東広瀬こども園	東広瀬町	大規模改修	
38	東山こども園	渋谷町	大規模改修	
39	平井こども園	百々町	現状維持	
40	広沢こども園	舞木町	大規模改修	
41	御船こども園	御船町	現状維持	
42	竜神こども園	竜神町	現状維持	民間移管済
43	若園こども園	中根町	現状維持	
44	若宮こども園	若宮町	大規模修繕	
45	本地こども園	本地町	大規模改修	
46	高橋こども園	水間町	大規模改修	
47	足助まゆみこども園	足助町	現状維持	
48	中山こども園	西中山町	現状維持	
49	大沼こども園	大沼町	大規模改修	
50	石畳こども園	白川町	大規模改修	
51	御作こども園	御作町	大規模修繕・大規模改修	
52	飯野こども園	藤岡飯野町	大規模修繕	
53	木瀬こども園	木瀬町	大規模修繕	
54	東部こども園	羽布町	大規模改修	
55	小渡こども園	下切町	大規模修繕	
56	杉本こども園	杉本町	大規模修繕	
57	道慈こども園	乙ケ林町	現状維持	
58	北栄こども園	下仁木町	現状維持	
59	大草こども園	小原町	現状維持	
60	稲武こども園	武節町	大規模改修	

61	足助もみじこども園	岩神町	大規模修繕・大規模改修	
62	則定こども園	則定町	現状維持	
63	大蔵こども園	大蔵町	大規模修繕	
64	冷田こども園	冷田町	大規模修繕	
65	益富こども園	志賀町	現状維持	
66	松平こども園	九久平町	現状維持	
67	寺部こども園	上野町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、幼児教育・保育施設として計画的な整備を進めるため、老朽化などへの対策が必要である。対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	朝日こども園

1　施設の概要

所在地	日南町	延床面積	812.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
保育室	RC 造	1971	628.00	2 階	
保育室	RC 造	1972	158.00	2 階	
倉庫	S 造	1984	26.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後５０年程度経過しているが、２０１０年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	上郷こども園

1　施設の概要

所在地	上郷町	延床面積	954.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	S 造	1972	23.00	1 階	
保育室	S 造	1979	489.00	1 階	
保育室	S 造	1980	213.00	1 階	
遊戯室	S 造	1980	229.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４１年程度経過しているが、２０１４年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	挙母こども園

1　施設の概要

所在地	挙母町	延床面積	1,028.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
保育室	RC 造	1971	466.00	2 階	
保育室	RC 造	1971	562.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後５０年が経過しているが、２０１０年度に屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	住吉こども園

1　施設の概要

所在地	住吉町	延床面積	1,080.76 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
保育室	RC 造	1981	1,045.00	2 階	
倉庫、便所	S 造	1981	24.00	1 階	
自転車置場	S 造	1981	11.76	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４０年が経過しているが、２０１２年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	誘導灯に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

5	施設名	トヨタこども園

1　施設の概要

所在地	水源町	延床面積	658.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1981	622.00	1 階	
倉庫	S 造	1981	36.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４０年が経過しているが、２０１５年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。倉庫の屋根の発錆が比較的著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

6	施設名	童子山こども園

1　施設の概要

所在地	小坂町	延床面積	784.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
保育室	S 造	1965	214.00	1 階	
遊戯室	S 造	1967	167.00	1 階	
保育室	S 造	1970	188.00	1 階	
保育室	S 造	1972	156.00	1 階	
便所	S 造	1973	19.00	1 階	
配膳室	W 造	1975	10.00	1 階	
倉庫	LWS 造	1990	26.00	1 階	
消火ポンプ室	S 造	1966	4.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後５６年程度経過しているが、２０１１年度に一部外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況は軽度であるが、築年数が比較的古いため引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	特になし。
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

7	施設名	野見こども園

1　施設の概要

所在地	美里	延床面積	1,679.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1992	220.00	1 階	
園舎	RC 造	1992	1435.00	2 階	
倉庫	S 造	1993	24.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後２９年が経過しているが、２０１７年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

8	施設名	平山こども園

1　施設の概要

所在地	平山町	延床面積	992.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
保育室	RC 造	1971	639.00	2 階	
保育室	RC 造	1973	330.00	2 階	
倉庫	S 造	1975	23.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後５０年程度経過しているが、２０１０年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

9	施設名	藤薮こども園

1　施設の概要

所在地	豊栄町	延床面積	483.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
保育室	S 造	1964	219.00	1 階	
管理室	S 造	1971	30.00	1 階	
応接室	S 造	1976	10.00	1 階	
管理棟	S 造	1990	51.00	1 階	
遊戯室	S 造	1966	123.00	1 階	
倉庫	S 造	1975	14.00	1 階	既存せず
配膳室	S 造	1984	50.00	1 階	
倉庫	LWS 造	1990	26.00	1 階	既存せず

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５７年が経過しているが、２０１４年度に屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	特になし。
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

10	施設名	宮口こども園

1　施設の概要

所在地	宮口町	延床面積	2,139.88 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	2007	2,097.48	2 階	
倉庫	RC 造	2007	32.40	1 階	
禽舎	S 造	2007	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後１４年が経過している。築年数が比較的新しいため、屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

11	施設名	美和こども園

1　施設の概要

所在地	百々町	延床面積	991.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
保育室	RC 造	1971	968.00	2 階	
倉庫	S 造	1975	23.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後５０年が経過しているが、２０１４年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

12	施設名	山之手こども園

1　施設の概要

所在地	山之手	延床面積	1,068.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
保育室	RC 造	1968	568.00	2 階	
管理室	RC 造	1968	455.00	2 階	
配膳室	S 造	1986	26.00	1 階	
倉庫	LWS 造	2000	14.00	1 階	
倉庫	LWS 造	2000	5.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５３年が経過しているが、１９９２、２０１８、２０１９年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

	特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善	
	特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減	
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

13	施設名	若林こども園

1　施設の概要

所在地	若林東町	延床面積	1,288.17 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1993	1,224.00	2 階	
倉庫	RC 造	1993	24.00	1 階	
調理室	S 造	2018	35.40	1 階	
倉庫	LWS 造	2018	4.77	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後２８年が経過しているが、２０１８年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

14	施設名	伊保こども園

1　施設の概要

所在地	保見町	延床面積	1,999.17 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1997	1,958.45	2 階	
倉庫	W 造	1997	35.92	1 階	
プロパン庫	CB 造	1997	4.80	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後２４年が経過しているが、２０１４年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。一部外壁にひび割れ等が見られるが、各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

15	施設名	今こども園

1　施設の概要

所在地	今町	延床面積	386.50 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1984	348.70	1 階	
倉庫	LWS 造	1984	25.92	1 階	
物置	LWS 造	1984	11.88	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３７年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

17	施設名	梅坪こども園

1　施設の概要

所在地	梅坪町	延床面積	1,969.09 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1987	1,194.70	2 階	
園舎	RC 造	1998	736.85	2 階	
倉庫	S 造	1987	25.92	1 階	
倉庫	LWS 造	1987	11.62	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後３４年が経過しているが、２０１１年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具・誘導灯に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

18	施設名	永新こども園

1　施設の概要

所在地	永覚新町	延床面積	805.41 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1977	780.98	1 階	
ポンプ室	CB 造	1977	5.44	1 階	
機械室	CB 造	1977	4.00	1 階	既存せず
倉庫	LWS 造	1978	9.79	1 階	
倉庫	LWS 造	1982	9.20	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４４年が経過しているが、２０１３年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われている。園舎の屋根の劣化が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

19	施設名	大畑こども園

1　施設の概要

所在地	篠原町	延床面積	878.28 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1972	854.55	1 階	
倉庫	LWS 造	1974	9.90	1 階	
倉庫	LWS 造	1987	13.83	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４９年が経過しているが、２００４年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。倉庫の屋根の発錆が比較的著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

20	施設名	大林こども園

1　施設の概要

所在地	大林町	延床面積	1,517.09 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1983	1,054.91	2 階	
園舎	RC 造	1989	361.06	2 階	
長時間保育棟	S 造	1983	63.58	1 階	
倉庫	LWS 造	1983	25.92	1 階	
物置	LWS 造	1983	11.62	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３８年程度経過しているが、２０１１年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われている。園舎の屋根の劣化が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

21	施設名	上鷹見こども園

1　施設の概要

所在地	上高町	延床面積	493.69 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1995	457.69	1 階	
倉庫	RC 造	1995	36.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後２６年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

22	施設名	越戸こども園

1　施設の概要

所在地	越戸町	延床面積	1,872.6 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	2003	1,860.73	2 階	
便所	RC 造	2003	11.87	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後１８年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

23	施設名	駒場こども園

1　施設の概要

所在地	駒場町	延床面積	1,843.81 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1981	771.99	2 階	
園舎	RC 造	1998	1,027.27	1 階	
倉庫	RC 造	1998	44.55	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４０年が経過しているが、２００９年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われている。園舎の屋根の劣化が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具・誘導灯に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

26	施設名	高美こども園

1　施設の概要

所在地	若林西町	延床面積	1,014.44 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1985	908.36	2 階	
長時間保育室	S 造	1985	63.58	1 階	
倉庫	S 造	1985	25.92	1 階	
倉庫	LWS 造	1985	11.88	1 階	
倉庫	LWS 造	1989	4.70	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３６年が経過しているが、２００８年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。一部外壁にひび割れが見られるが、劣化状況も軽度であり引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

29	施設名	堤ケ丘こども園

1　施設の概要

所在地	堤町	延床面積	1,064.13 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1994	1,014.27	1 階	
倉庫	RC 造	1994	42.30	1 階	
プロパン庫	CB 造	1994	7.56	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後２７年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、概ね健全な状態を保っている。一部外壁にひび割れが見られるが、劣化状況も軽度であり引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

30	施設名	透成こども園

1　施設の概要

所在地	西広瀬町	延床面積	408.96 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1970	395.28	1 階	
倉庫	S 造	1980	13.68	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後５１年が経過しているが、２００１、２００２年度に屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。一部外壁にひび割れが見られるが、劣化状況も軽度であり引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

31	施設名	渡刈こども園

1　施設の概要

所在地	渡刈町	延床面積	1,751.72 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	SRC 造	2001	1,725.22	2 階	
倉庫	W 造	2001	26.50	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後２０年が経過しているが、２０１４年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善 特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

32	施設名	豊松こども園

1　施設の概要

所在地	豊松町	延床面積	391.97 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1977	383.13	2 階	
物置	W 造	1977	8.84	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４４年が経過しているが、１９９０、１９９３年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。一部屋根外壁に発錆やひび割れが見られるが、劣化状況も軽度であり引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

33	施設名	中金こども園

1　施設の概要

所在地	城見町	延床面積	436.38 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1977	428.67	1 階	
倉庫	LWS 造	1980	7.71	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４４年が経過しているが、２００６年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善 特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

34	施設名	中根山こども園

1　施設の概要

所在地	高岡本町	延床面積	1,159.18 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1973	268.29	1 階	
園舎	S 造	1985	14.05	1 階	
園舎	RC 造	1985	824.18	2 階	
倉庫	S 造	1985	25.92	1 階	
倉庫	LWS 造	1985	11.62	1 階	
便所	S 造	2005	15.12	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４８年が経過しているが、２０１４、２０１８年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

35	施設名	根川こども園

1　施設の概要

所在地	下林町	延床面積	1,128.7 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1978	1,114.84	2 階	
機械室	CB 造	1978	4.00	1 階	既存せず
倉庫	LWS 造	1979	11.41	1 階	
倉庫	LWS 造	1987	2.45	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４３年が経過しているが、２０１２年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

36	施設名	ひかりこども園

1　施設の概要

所在地	矢並町	延床面積	515.68 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	LWS 造	1976	4.75	1 階	既存せず
園舎	S 造	1981	501.14	1 階	
倉庫	LWS 造	1981	8.10	1 階	
倉庫	LWS 造	1989	6.44	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４５年が経過している。２００９、２０１８年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われているが、劣化が進みつつある。特に屋根の発錆が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

37	施設名	東広瀬こども園

1　施設の概要

所在地	東広瀬町	延床面積	877.53 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	LWS 造	1985	78.30	1 階	
園舎	RC 造	1986	773.31	2 階	
倉庫	S 造	1986	25.92	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３６年が経過しているが、２００８年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。倉庫の屋根の発錆が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

38	施設名	東山こども園

1　施設の概要

所在地	渋谷町	延床面積	1,587.17 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	LWS 造	1968	25.92	1 階	
園舎	RC 造	1991	1,529.57	2 階	
便所	S 造	2005	22.68	1 階	
プール用倉庫	RC 造	1968	9.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５３年が経過しているが、２００５年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

39	施設名	平井こども園

1　施設の概要

所在地	百々町	延床面積	1,466.92 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1968	374.22	1 階	
園舎	S 造	1968	187.11	1 階	
園舎	S 造	1969	151.47	1 階	
園舎	S 造	1980	349.00	1 階	
園舎	S 造	1991	124.20	1 階	
ポンプ室	CB 造	1977	3.75	1 階	既存せず
倉庫	S 造	1991	25.92	1 階	
園舎	S 造	1980	255.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後５３年が経過しているが、２０１２年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。倉庫の屋根の発錆が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	特になし。
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

40	施設名	広沢こども園

1　施設の概要

所在地	舞木町	延床面積	1,385.14 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	SRC 造	1999	1,385.14	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後２２年が経過しているが、２０１７年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
非常照明器具・誘導灯に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

41	施設名	御船こども園

1　施設の概要

所在地	御船町	延床面積	1,030.88 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1983	933.46	2 階	
長時間保育棟	S 造	1983	71.50	1 階	
倉庫	LWS 造	1983	25.92	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３８年が経過している。２０１２年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われているが、劣化が進みつつある。一部園舎屋根の劣化や長時間保育棟の外壁にひび割れが見られるため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

43	施設名	若園こども園

1　施設の概要

所在地	中根町	延床面積	1,321.12 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1984	1,215.46	2 階	
長時間園舎	S 造	1984	63.58	1 階	
倉庫	LWS 造	1984	25.92	1 階	
物置	LWS 造	1984	11.88	1 階	
ポンプ室	CB 造	1984	4.28	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３７年が経過しているが、１９９７、２０１８年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

44	施設名	若宮こども園

1　施設の概要

所在地	若宮町	延床面積	754.25 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
便所	CB 造	1979	17.76	1 階	
園舎	RC 造	1963	736.49	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後５８年が経過しているが、２００３、２００８年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

45	施設名	本地こども園

1　施設の概要

所在地	本地町	延床面積	1,220.9 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1987	1,172.88	2 階	
倉庫	S 造	1987	48.02	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３４年が経過しているが、２０１１年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

46	施設名	高橋こども園

1　施設の概要

所在地	水間町	延床面積	958.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1989	423.00	2 階	
園舎	RC 造	1989	498.00	2 階	
倉庫	S 造	1989	26.00	1 階	
便所	RC 造	1989	11.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３２年が経過しているが、２０１１年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

47	施設名	足助まゆみこども園

1　施設の概要

所在地	足助町	延床面積	469.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
倉庫	W 造	1992	41.00	1 階	
倉庫 2	W 造	1999	10.00	2 階	
校舎	S 造	1982	418.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３９年が経過しているが、２０１２年度に一部屋根延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

48	施設名	中山こども園

1　施設の概要

所在地	西中山町	延床面積	1,696.20 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1981	1,046.40	2 階	
園舎	RC 造	1987	92.56	2 階	
園舎	RC 造	1999	48.80	1 階	
園舎	S 造	2007	73.63	1 階	
倉庫	S 造	2007	11.63	1 階	
園舎	S 造	2009	317.70	1 階	
園舎	S 造	2007	101.36	1 階	
倉庫	LWS 造	1981	4.12	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４０年が経過しているが、２００７、２００９年に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	特になし。
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

49	施設名	大沼こども園

1　施設の概要

所在地	大沼町	延床面積	867.07 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1976	573.15	1 階	
廊下・便所	S 造	1985	19.08	1 階	
園舎	S 造	1997	40.64	1 階	
乳児室	S 造	2003	234.20	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４５年が経過している。２０１４年に屋根外壁延命化修繕工事が行われているが、劣化が進みつつある。屋根の劣化が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

50	施設名	石畳こども園

1　施設の概要

所在地	白川町	延床面積	788.03 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1990	593.82	1 階	
園舎	RC 造	1997	174.96	1 階	
倉庫	S 造	1990	19.25	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３１年程度経過しているが、２０１４年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	誘導灯に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

51	施設名	御作こども園

1　施設の概要

所在地	御作町	延床面積	603.14 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1984	579.14	1 階	
倉庫	S 造	1984	24.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３７年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はなく、劣化が進みつつある。一部屋根や外壁に汚れやひび割れが見られるため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

52	施設名	飯野こども園

1　施設の概要

所在地	藤岡飯野町	延床面積	1,694.69 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	2004	1,650.69	1 階	
倉庫	S 造	2004	44.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後１７年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

53	施設名	木瀬こども園

1　施設の概要

所在地	木瀬町	延床面積	403.97 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	RC 造	1982	361.72	1 階	
ボイラー室	RC 造	1982	5.71	1 階	
トイレ	S 造	1999	13.44	1 階	
倉庫	S 造	1982	23.10	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３９年が経過しているが、２０１３年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。倉庫の屋根の発錆が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

54	施設名	東部こども園

1　施設の概要

所在地	羽布町	延床面積	716.65 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	W 造	1988	695.35	1 階	
屋外遊具倉庫	W 造	1988	8.10	1 階	
ポンプ庫	W 造	1988	13.20	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３３年が経過している。２０１８年度に一部外壁延命化修繕工事が行われているが、修繕工事を行っていない部位を中心として劣化が進みつつある。特に園舎屋根の劣化が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

55	施設名	小渡こども園

1　施設の概要

所在地	下切町	延床面積	727.19 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	W 造	2001	704.00	1 階	
倉庫	W 造	2001	23.19	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後２０年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

56	施設名	杉本こども園

1　施設の概要

所在地	杉本町	延床面積	727.19 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	W 造	2001	704.00	1 階	
倉庫	W 造	2001	23.19	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後２０年が経過しているが、２０１４年度に一部外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

57	施設名	道慈こども園

1　施設の概要

所在地	乙ケ林町	延床面積	683.31 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1979	642.00	1 階	
物置	W 造	1979	29.16	1 階	
物置	W 造	1979	12.15	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４２年が経過しているが、２００８年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。物置の外壁に一部変形が見られるため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

58	施設名	北栄こども園

1　施設の概要

所在地	下仁木町	延床面積	681.45 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1975	645.00	1 階	
物置	W 造	1975	14.58	1 階	
物置	W 造	1975	16.20	1 階	
物置	W 造	1975	5.67	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４６年が経過しているが、２００８、２０１９年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。物置の屋根外壁の発錆が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

59	施設名	大草こども園

1　施設の概要

所在地	小原町	延床面積	699.69 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1982	687.00	1 階	
物置	W 造	1982	10.26	1 階	
物置	W 造	1982	2.43	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３９年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

60	施設名	稲武こども園

1　施設の概要

所在地	武節町	延床面積	1,224.07 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	1991	939.74	1 階	
園舎	W 造	1991	246.83	1 階	
屋外便所	W 造	1991	37.50	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後３０年が経過している。２０１３年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われているが、全体的に劣化が進みつつある。特に園舎屋根の劣化が著しいため、引き続き経過観察しながら改修の優先度を考えていく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	誘導灯に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

61	施設名	足助もみじこども園

1　施設の概要

所在地	岩神町	延床面積	1,372.18 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	W 造	2005	1,372.18	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後１６年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、概ね健全な状態を保っている。一部外壁にひび割れが見られるが、劣化状況も軽度であり引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

62	施設名	則定こども園

1　施設の概要

所在地	則定町	延床面積	262.27 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
遊戯室	LWS 造	1996	54.20	1 階	
園舎	LWS 造	1977	195.41	1 階	
物置	W 造	1977	10.78	1 階	
油庫	CB 造	1977	1.88	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４４年が経過しているが、２００９年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われ、概ね健全な状態を保っている。倉庫の屋根外壁に一部発錆が見られるが、劣化状況も軽度であり引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減	
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

63	施設名	大蔵こども園

1　施設の概要

所在地	大蔵町	延床面積	234.19 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	LWS 造	1975	210.6	1 階	
物置	W 造	1975	13.61	1 階	
遊具庫	W 造	1975	8.40	1 階	
油庫	CB 造	1975	1.58	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４６年が経過しているが、２００７、２００８年度に一部屋根外壁延命化修繕工事が行われており、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

64	施設名	冷田こども園

1　施設の概要

所在地	冷田町	延床面積	227.97 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	LWS 造	1975	210.60	1 階	
倉庫	W 造	不明	15.77	1 階	
油庫	CB 造	1975	1.60	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後４６年が経過しているが、２００９年度に一部外壁延命化修繕工事が行われており、概ね健全な状態を保っている。園舎屋根に一部発錆が見られるが、劣化状況も軽度であり引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

65	施設名	益富こども園

1　施設の概要

所在地	志賀町	延床面積	2,103.70 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	2006	2,071.30	2 階	
倉庫	RC 造	2006	32.40	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後１５年が経過している。屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、比較的健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

66	施設名	松平こども園

1　施設の概要

所在地	九久平町	延床面積	1,913.43 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	2013	1,862.28	2 階	
倉庫	W 造	2013	39.75	1 階	
乳母車倉庫	RC 造	2013	11.40	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後８年が経過している。築年数が比較的新しいため、屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

67	施設名	寺部こども園

1　施設の概要

所在地	上野町	延床面積	2,374.81 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
園舎	S 造	2015	2,321.53	2 階	
屋外倉庫	W 造	2015	53.28	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は築後６年が経過している。築年数が比較的新しいため、屋根外壁延命化修繕工事が行われた履歴はないが、健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと判断される。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。